



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月6日

上場会社名 川本産業株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 3604 URL <http://www.kawamoto-sangyo.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)川本 武  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員管理本部長 (氏名)佐々木 功雄 (TEL)06(6943)8951  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	7,466	1.9	126	146.4	103	449.2	58	568.7
24年3月期第1四半期	7,328	△1.8	51	33.3	18	—	8	100.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	9 71	—
24年3月期第1四半期	1 45	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	17,314	4,663	26.9
24年3月期	15,973	4,661	29.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 4,663百万円 24年3月期 4,661百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8 00	—	7 00	15 00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	7 00	—	7 00	14 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,872	0.3	166	△9.9	112	23.5	66	57.4	11 02
通期	30,330	2.1	490	16.1	380	5.4	219	26.7	36 54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期1Q	6,000,000株	24年3月期	6,000,000株
25年3月期1Q	8,181株	24年3月期	8,181株
25年3月期1Q	5,991,819株	24年3月期1Q	5,992,841株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報」（3）業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要や堅調な個人消費によって緩やかな景気回復基調となるなかで、長引く欧州金融不安や中国経済の成長の減速などの不安定な国際情勢や円高の影響により、景気の先行きは不透明な状況が継続しております。当医療衛生材料業界におきましても、引き続き厳しい経営環境が継続しております。

このような状況下で当社の当第1四半期累計期間の業績は、売上高は74億66百万円（前年同四半期比1.9%増加）、営業利益は1億26百万円（同146.4%増加）、経常利益は1億3百万円（同449.2%増加）、四半期純利益は58百万円（同568.7%増加）で増収増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。なお、当第1四半期累計期間より販売管理体制を変更したことに伴い、前事業年度の「メディカル部門国内向け」と「アパレル部門」を統合して「国内向け」セグメントとし、「メディカル部門海外向け」を「海外向け」と改称いたしました。これに伴い、前年同四半期比較につきましては、変更後のセグメントに組み替えた数値で比較しております。

#### (国内向け)

製品では、衛生材料は手術関連製品等の高付加価値製品の販売強化に努めたことで増加し、医療用品では重点販売製品の販売を一層強化したことで、「感染予防関連製品」、「セットパック製品」及び「ステリコットα」がともに増加いたしました。一方アパレル製品では、素材販売が前年同四半期の綿糸相場高騰による大幅な供給減少から当第1四半期累計期間は安定的な供給に回復したことにより増加しましたが、ベビー用衣料品は海外品との競争激化により減少いたしました。

商品では、医療用品はほぼ前年同四半期並みにとどまりましたが、販売体制の連携を強化したこともあって大手量販店向け販売が好調に推移し育児用品が増加いたしました。

これらの結果、売上高は72億16百万円（同2.4%増加）となりました。

#### (海外向け)

中近東を中心とした幅広い市場に対して衛生材料及び医療用品等の国内製品群に海外調達品を加えた製品を積極的に販売活動を行いました。当第1四半期累計期間が円高で推移したことや中近東市場における医療機器輸入制度の改正による影響が継続しており、売上高は2億49百万円（同10.5%減少）となりました。

利益面では、原価が高止まりした製品の販売価格への適正転嫁や低収益製品の販売価格の見直しを継続しており、売上総利益率は前年同四半期に対して0.6ポイント上昇し、売上総利益は14億64百万円（同5.0%増加）となりました。

経費面では、運賃経費は増加しましたが全体的な節約に取り組んだことにより、販売費及び一般管理費は13億37百万円（同0.4%減少）となりました。

営業外費用では、当第1四半期累計期間が円高で推移した影響で為替差損が23百万円（同7.0%増加）発生いたしました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は173億14百万円で前事業年度末に対して13億41百万円増加いたしました。

流動資産は、124億38百万円で前事業年度末に対して14億11百万円増加いたしました。「現金及び預金」が99百万円増加、「受取手形」・「売掛金」が4億31百万円増加、「たな卸資産」が1億70百万円増加、「未収入金」7億37百万円増加したことが主な要因です。

固定資産は、48億76百万円で前事業年度末に対して70百万円減少いたしました。有形固定資産で、「建物」・「機械及び装置」が33百万円減少、「リース資産」が13百万円減少、投資その他の資産で、「投資有価証券」が10百万円減少したことが主な要因です。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、126億50百万円で前事業年度末に対して13億38百万円増加いたしました。

流動負債は、90億92百万円で前事業年度末に対して12億5百万円増加いたしました。「短期借入金」・「1年内返済予定の長期借入金」が12億97百万円増加、「未払費用」が70百万円増加、「未払法人税等」が1億28百万円減少、「預り金」が94百万円増加、「賞与引当金」が1億59百万円減少したことが主な要因です。

固定負債は、35億58百万円で前事業年度末に対して1億33百万円増加いたしました。「長期借入金」が1億41百万円増加したことが主な要因です。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、46億63百万円で前事業年度末に対して2百万円増加いたしました。「繰越利益剰余金」が16百万円増加、「その他有価証券評価差額金」が13百万円減少したことが主な要因です。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後も厳しい環境は当面継続すると見込まれるなか、当社は、重点施策の「自社製品の開発促進と販売拡大」、「販売体制の連携強化」、「物流業務の効率化推進」、「海外向け販売拡充の体制整備」、「投下資本の効率化」に注力するとともに、全社をあげて効率的な経費支出を推進し、一層の利益面の向上策を進めて、安定した収益の確保につなげてまいります。

業績予想につきましては、平成24年5月14日発表の数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期累計期間の利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,471,079	2,571,005
受取手形	989,651	1,426,873
売掛金	4,426,374	4,420,262
商品及び製品	1,793,732	1,935,998
仕掛品	328,445	355,404
原材料及び貯蔵品	170,603	172,011
繰延税金資産	181,611	148,660
その他	667,074	1,410,034
貸倒引当金	△1,826	△2,018
流動資産合計	11,026,746	12,438,233
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,426,683	1,403,973
機械及び装置(純額)	144,496	133,482
土地	1,999,059	1,999,059
リース資産(純額)	104,737	91,170
その他(純額)	86,603	81,581
有形固定資産合計	3,761,580	3,709,267
無形固定資産		
リース資産	15,126	13,792
その他	35,177	35,850
無形固定資産合計	50,303	49,642
投資その他の資産		
投資有価証券	425,058	414,278
長期貸付金	150,000	150,000
繰延税金資産	173,827	171,000
その他	443,228	401,691
貸倒引当金	△56,991	△19,318
投資その他の資産合計	1,135,123	1,117,652
固定資産合計	4,947,007	4,876,563
資産合計	15,973,753	17,314,796

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	2,811,908	2,815,750
買掛金	1,821,022	1,816,618
短期借入金	1,371,000	2,630,000
1年内返済予定の長期借入金	744,372	782,625
リース債務	58,953	57,744
未払金	81,289	72,628
未払費用	421,865	492,724
未払法人税等	135,879	7,582
預り金	13,717	108,291
賞与引当金	238,656	79,151
役員賞与引当金	8,700	—
売上割戻引当金	147,207	150,395
その他	32,588	78,852
流動負債合計	7,887,161	9,092,362
固定負債		
長期借入金	2,611,016	2,752,488
リース債務	66,903	52,467
退職給付引当金	509,950	512,631
資産除去債務	16,711	16,782
為替予約	184,577	185,747
その他	36,347	38,469
固定負債合計	3,425,507	3,558,586
負債合計	11,312,668	12,650,949
純資産の部		
株主資本		
資本金	883,000	883,000
資本剰余金		
資本準備金	1,192,597	1,192,597
資本剰余金合計	1,192,597	1,192,597
利益剰余金		
利益準備金	86,100	86,100
その他利益剰余金		
配当引当積立金	5,000	5,000
別途積立金	1,000,000	1,000,000
繰越利益剰余金	1,397,612	1,413,877
利益剰余金合計	2,488,712	2,504,977
自己株式	△3,666	△3,666
株主資本合計	4,560,643	4,576,908
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	100,441	86,939
評価・換算差額等合計	100,441	86,939
純資産合計	4,661,084	4,663,847
負債純資産合計	15,973,753	17,314,796



(2) 四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	7,328,682	7,466,235
売上原価	5,933,581	6,001,888
売上総利益	1,395,101	1,464,347
販売費及び一般管理費	1,343,729	1,337,773
営業利益	51,371	126,573
営業外収益		
受取利息	1,250	848
受取配当金	5,566	6,456
仕入割引	9,245	9,705
その他	8,525	7,778
営業外収益合計	24,588	24,789
営業外費用		
支払利息	14,237	15,653
為替差損	21,537	23,048
その他	21,298	8,934
営業外費用合計	57,073	47,636
経常利益	18,886	103,726
特別利益		
受取補償金	10,971	—
特別利益合計	10,971	—
税引前四半期純利益	29,858	103,726
法人税、住民税及び事業税	16,420	5,255
法人税等調整額	4,732	40,263
法人税等合計	21,153	45,518
四半期純利益	8,704	58,207

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。